

質問に対する回答について  
工事名) 秋田自動車道 横手工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答															
1	<p>数量明細表 26/28 通し番号 308 既設管撤去は大沢トンネル・横手トンネルの「洗浄水貯留槽接続ます取り付け部(大沢トンネル設計図 27/69 右下・横手トンネル設計図 17/57 右下)」の HP300 撤去と判断できますが、撤去後に図面記載の Dc<sup>^</sup>(SP)-0.90-0.90-1.30 の施工位置・高さ等に記載がありません。また、集水ます TypeE の数量にも含まれていません。今回施工では PH300 の撤去は施工するが、集水ますは施工しないと考えてよろしいでしょうか。そうでない場合は、ますの施工位置・高さ・数量の明示をお願いします。</p>	<p>既設管撤去後の集水ますの施工は、詳細図に記載のとおり、Dc<sup>^</sup>(SP)-0.90-0.90-1.30 になり、位置は平面図に記載する Dc<sup>^</sup>(D)-0.60-0.60-0.80(UJ) の箇所となります。上記により、数量明細表 集水ます TypeB・TypeE 及び撤去工 既設管の正しい数量内訳は以下のとおりです。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">集水ます</th> <th>撤去工</th> </tr> <tr> <th>TypeB</th> <th>TypeE</th> <th>既設管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3. 大沢トンネル</td> <td style="text-align: center;">9.0</td> <td style="text-align: center;">4.0</td> <td style="text-align: center;">2.5</td> </tr> <tr> <td>4. 横手トンネル</td> <td style="text-align: center;">4.0</td> <td style="text-align: center;">4.0</td> <td style="text-align: center;">1.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>		集水ます		撤去工	TypeB	TypeE	既設管	3. 大沢トンネル	9.0	4.0	2.5	4. 横手トンネル	4.0	4.0	1.8
	集水ます			撤去工													
	TypeB	TypeE	既設管														
3. 大沢トンネル	9.0	4.0	2.5														
4. 横手トンネル	4.0	4.0	1.8														
2	<p>特記仕様書P. 100                      仮設物設置・撤去工 仮設落石防護柵設置・撤去の区分内容に「使用する材料はガードレール及び大型土のうを除き全てリース品とする」と記載がありますが、ガードレールは購入すると考えてよろしいでしょうか。その場合、中古品、新品どちらで計上されているでしょうか。また、撤去後の処理についてご教示ください。</p>	<p>そのとおりです。                      ガードレールの中古品・新品の計上は、積算に関する質問になりますので、お答えできません。                      撤去後の処理については、特記仕様書 29-47 (2) 種別に記載のとおりです。</p>															

3	<p>特記仕様書 P. 100 仮設物設置・撤去工 仮設落石防護柵について、リース品の整備費は、通し番号 310「仮設落下防護柵 賃料」に計上すると考えてよろしいでしょうか。違う場合、計上する項目をご教示ください。</p>	<p>単価項目 仮設物設置・撤去 落石防護柵 賃料については、特記仕様書 29-47(2) 種別に示すとおりリース品の月当りの賃料のみを計上しています。リース品の整備費については、単価項目 仮設物設置・撤去工 仮設落石防護柵設置・撤去に計上するものとしてお考えください。</p>										
4	<p>特記仕様書 P. 90 10/3 の訂正で鋼管の「廃材処理」が削除されました。鋼管は撤去までを含み、坑外運搬・ずりとの選別・撤去材の処分については、本単価項目に含まれず、工事契約後、別途監督員と協議するものとして考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>そのとおりです。</p>										
5	<p>設計図 5/11 中里橋 1/79 中里橋(上り線) 数量総括表 10/3 の訂正で、A1 橋台、A2 橋台ともに鉄筋 A D16~D25 の数量が 5.838t から 4.506t に変更になりましたが、場所打杭のフープ筋 FP1 : 1.332t を除いたと考えられます。この分はどこに計上されているのでしょうか。</p>	<p>数量明細表 鉄筋 A の設計数量は 315.765 t が正になり、数量内訳は以下のとおりです。</p> <table border="0" data-bbox="847 1137 1342 1361"> <tr> <td>2. 溝渠工 (函渠工・管渠工)</td> <td>32.120 t</td> </tr> <tr> <td>3. 大沢トンネル</td> <td>58.885 t</td> </tr> <tr> <td>4. 横手トンネル</td> <td>60.805 t</td> </tr> <tr> <td>5. 中里橋</td> <td>61.277 t</td> </tr> <tr> <td>6. 新町橋下部工</td> <td>102.678 t</td> </tr> </table> <p>交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>	2. 溝渠工 (函渠工・管渠工)	32.120 t	3. 大沢トンネル	58.885 t	4. 横手トンネル	60.805 t	5. 中里橋	61.277 t	6. 新町橋下部工	102.678 t
2. 溝渠工 (函渠工・管渠工)	32.120 t											
3. 大沢トンネル	58.885 t											
4. 横手トンネル	60.805 t											
5. 中里橋	61.277 t											
6. 新町橋下部工	102.678 t											
6	<p>設計図 4/11 横手トンネル 18/57 横手トンネル排水工詳細図 (2) 10/3 の訂正で「ます接続部の詳細」が明示されましたが、ます接続部のコンクリート、型枠、モルタルは、用排水管 P(Po-B)・φ0.20 (Sd-B)、P(Po-B)・φ0.30 (Sd-B) にそれぞれ計上してあると考えるとよろしいでしょうか。違う場合、計上する項目をご教示ください。</p>	<p>そのとおりです。</p>										